



笠島布絵の会 しおかぜ娘

KASASHIMA-NUNOENOKAI
SHIOKAZEMUSUME

11月、飯塚邸で行なわれた「華墨彩」には、市内在住の書藝家 宮嶋美恵子さんの作品を中心に布絵に関わる人たちの作品も飾られた。

その一つ、着物を着たかわいらしいネズミの布絵がずらりと並んでいるのは、笠島地域で2018年に発足した布絵サークル、「笠島布絵の会 しおかぜ娘」の皆さんの作品だ。

笠島在住で会の代表を務める、近藤いずみさんに話を伺った。きっかけは、宮嶋さんの作品展を見に行き布絵を体験したことだ。作品に感激し、自分もぜひやってみたいと思い、地元の友人に相談するとすぐに仲間が集まってくれて、宮嶋さんに講師をお願いすることが出来たと話す。

教室は月に2回、笠島地域の集会所を借りて夜7時半から9時までの1時間半。集まるのは子育ても終わった50代、60代の地元の仲間たち。14人のメンバーが宮嶋さんに教えてもらいながら一緒に布絵に取り組んでいる。針も糸も使わない手軽なところも魅力の一つだ。

「子どもが小さかった頃はしょっちゅう顔を合わせていたけど、最近はそれも少なくなっていた」という。布絵をきっかけに定期的に顔を合わせるようになり情報

交換をする機会も増えた。若いころとは話題も変わったが、新しいつながりが生まれているようにも感じている。

「最初は世間話が始まり、徐々に作品作りに集中して無口になるんです。同じ型紙を使っているのに布の柄や色合い、背景で違った作品に仕上がっていく。それぞれがひと工夫し、人と違ったその人らしさが見えてくるのが面白い。みんな手先が器用で好きなんですよ」と楽しそうに語る。多くの皆さんに宮嶋先生の布絵を知ってもらいたいし、体験してほしい、と続ける。

どんな作品を作っていくかは会のメンバーと講師の宮嶋さんとで相談しながらスケジュールを決めていく。次は、柏崎の綾子舞をテーマに作品制作が始まる予定だ。

「いつか、みんなで笠島の風景を作りたい。みんなで一つの布絵作品を作るっていいですよ」と、とびきりの笑顔で話した。



笠島布絵の会 しおかぜ娘 作品展

1月17日(令和2年営業開始日)～
蔵ギャラリーMokuにて開催予定

海辺のキッチン倶楽部もく・蔵ギャラリーMoku
柏崎市笠島810-1
TEL: 0257-31-1023
営業: 金・土・日 午前10時～午後4時